



こんにちは。
町長です。

「若い農業後継者が育っています。」

小鹿野町では、現在、「明日の農業担い手育成塾」を開催して、若い農業後継者の育成を図っています。

この事業は、平成25年度から始まり、本年度で6年目になりますが、毎年1~2名の新規就農者が育っています。平成29年度までに7名が卒塾して就農し、本年度は新たに2名が入塾します。入塾者は町内外から入塾しておりますが、町外からの入塾者も5名おります。

また、塾以外でも就農する町内の若手も数名出てきております。

取り組んでいる農業分野は、施設園芸であるハウスきゅうりの栽培です。

小鹿野のハウスきゅうりは古くから栽培されており、東京の市場で大変高い評価をいただいております。そういった意味で小鹿野ハウスきゅうりは、先人たちのご努力によりブランドが確立していました。

しかし、近年、後継者不足などによりハウスきゅうり農家が減少し、出荷額も少なくなっております。ただ、今まで小鹿野のハウスきゅうり栽培を支えてきた指導者がまだいらっしゃるから、その人達が塾生を快く引き受け入れていただき、しっかりした指導が出来る体制が整ったことから、この事業が成功することとなりました。

更には、JAちちぶを中心とした集出荷体制が確立していることも成功の要因のひとつとなっております。

小鹿野町の気候がハウスきゅうりの栽培に適しており、栽培技術も確立しブランド力も持っている、そして何と言っても大消費地の東京が近くに控えているなどの理由から、これからもハウスきゅうり栽培は成長の可能性が高い農業分野であると思います。

これから、塾を育った若手農業者が自立して経営を軌道に乗せていくには多くの課題が山積していると思っておりますが、是非努力をしていただきたいと存じます。町も出来る限りの支援をして参ります。

小鹿野町長 森 真太郎